

「ひろがる町工場」

高崎ART製造PROJECTカロエ 代表 山崎将臣



第4回

無茶でつながる

るが、以前にも増してへ

びいな、無茶ぶり、をされるが増えおり、相変わらず忙しくさせている。

て受けるつもりだ。

正直、無茶ぶりされたらとても面倒くさい。通常の精密板加工屋としての業務も決してポリ

くる。

チャンスをいえば、大きなプレッシャーもかかるし、休まない毎日を地獄と思うこともあるが、いつも応援してくれている人たちに恩返しする機会でもある。

集中している。大

立ち上げた当時には想像もなかったスピードいし、徹夜もよっちゅり、現在取材撮影が行われている。詳しいお話は次回させていただきます。

ームが少ないわけではな

ここで目の前にあるものであれば何かしらの効果

感で成果や実績を残して

しかし、面倒くさいこと回避しては決して、出演の依頼に対して

力を知っていただける皆さんに、「艱難汝を玉に

合いも多くなって浮かれだを感じる。無茶ぶりをできず、そこに隠されたチャンスをつかむこともできない。全力を注がずけすぐに撮影開始。

【略歴】05年に精密板造・メッキ・木工・皮革・電気・建築の分野から13

「アートのイベントには全

す頑張らねばと思っ

ここで目の前にあるものであれば何かしらの効果



15年の第1回カロエ工定例会にて